

全 体 概 要

1. 取組の概要

工都新居浜の活性化に資するために、身近な地域社会と連携し、「ものづくり人材育成」及び「まちづくり・地域の求心力向上」の2テーマに焦点を合わせて、学生の地域連携プロジェクト型ものづくり活動を、PDCAサイクルを回しながら、継続的に展開するシステムを構築することを狙いとしている。

その特色は以下の通りである。

○低学年と高学年を一つのグループに組織して、ものづくり活動と地域出前授業の双方を、体験学習として実践する。低学年で活動の基礎を学んだ学生が、順次、高学年に進んで立場を変えて、教える・指導する体験を通じて、プロジェクトマネジメント能力の発展を図り、ものづくりに関する知恵と行動力をもつ、信頼される技術者として成長していくシステムの確立を狙う。

さらに、体験教育の形態として、ものづくり活動と出前授業のスパイラルによって自己学習能力、実践力を養うシステムを拡張して、実習・実験と出前授業を組み合わせる新しい教育システムを導入する。

○地域協同教育に熱意のある方をコーディネーター等に委嘱し、地域の人的資源の参加を促すとともに、フォーラムや成果発表会の開催などを通じ成果の普及を図る。

2. 3年間の事業計画概要

本事業は平成18年度から平成20年度の3年間の事業である。平成18年度は発進の年度、平成19年度は飛躍の年度、平成20年度はまとめの年度と位置づけている。

初年度の平成18年度は発進の年度である。推進運営委員会等組織を構築して、ものづくり教育研究フォーラムを「地域連携プロジェクト型ものづくり活動の可能性」のテーマで開催し、取組の構図を固める。4プロジェクトのスタートを行い、年度末には、成果発表交流会を開催して、活性化プランを討議する。また、評価委員会を開催して、教育効果等について評価し、次年度の活動計画に反映させる。

次年度、平成19年度は飛躍の年度である。ものづくり教育研究フォーラムは「地域連携プロジェクト型ものづくり活動とまちづくり」のテーマで開催し、まちづくりへの展開を図る。4プロジェクトの継続・充実とともに、新たに2プロジェクトのスタートを行う。成果発表交流会、評価委員会を開催してPDCAサイクルを回す。

次々年度、平成20年度はまとめの年度である。ものづくり教育研究フォーラムは「地域連携プロジェクト型ものづくり活動とこれからの技術者教育」のテーマで開催し、教育改革への展開の可能性を検討する。各プロジェクトを継続し、内容の充実を図る。成果発表交流会、評価委員会を開催して、取組終了後の自主的プロジェクト活動継続を決定する。